

6月より防府市の 「幸せますケンシン」が始まります。

医療事務課 健診事務室 主任 藤井 直美

当センターでは、6月2日より胃がん、大腸がん、特定健診、そして人間ドックの受付を開始致します。消化管の病気の有無を調べることができる大腸がん検査や人間ドックは有効な検診です。

各種がん検診、人間ドックを受診するだけでなく、ぜひ健診結果を十分に役立てていただき、結果を軽視せず、早期発見のチャンスを活かしてください。不安なことがあれば当センターへご相談ください。



6月の外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	三浦	望月	～10:00 奥田 10:30～ 三浦	望月	望月	外来は 休診 ですが、 医療機関からの紹介 患者さんのみ常勤の 医師が対応します。
	2診	奥田	奥田	末富	矢野	矢野	
	3診	釘宮	釘宮	-	-	釘宮	
	5診	藤原	竹尾	竹尾	竹尾	-	
	6診	-	佐伯	佐伯	平田	-	
午後	一般外来	平田	平田	三浦	三浦	三浦	休診
	内科外来	-	-	末富	-	交代制	
	専門外来 (予約制)	専門外来は第1、3、5週の金曜日です。ご予約・お問い合わせは、 ☎0835-22-3339(平日 14時～17時)までお願いします。				食道・女性大腸 藤原	

診療日時	受付時間	診療時間
午前(月～金)	8:00～11:00	8:30～
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～

- 都合により**代診**になる場合があります。
- 金曜日午後の専門外来「食道・女性大腸」とは「食道がん外来」と「女性内視鏡検査」です。
- **出張などで、担当医が不在**の場合もあります。
受付またはお電話でお問い合わせください。

Editorial Note

6月になりました。既に蒸し暑い日々が続いています。当院では9月の電子カルテ更新に向けて、慌ただしくなっておりまいた。この機会に近年の情報技術革新を取り入れ、患者の皆様にはより安全に検査や治療を受けていただけるよう、環境を整えてまいりたいと思います。気忙しい時には、まず落ち着いて、それから行動することが大切だと感じています。ヒトのエラーはシステムで防ぐことが医療安全の基本ですが、人の行動も重点要素であることに変わりはありません。みな心してまいりたいと思います。 事務局長 栗林 左知

一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33 TEL: 0835-22-3339(代表)

【電車・バス】JR 防府駅よりバス2分 防府市役所前下車または JR 防府駅より徒歩 10 分

【お車】山陽自動車道 防府東または防府西インターから 10 分

公式サイト



<https://www.hofu-icho.or.jp>

Instagram



ICHO

No. 97



- 看護の日イベントを開催
～写真展: になりたい自分を求めて～
- この人に聞きました①
「内視鏡技術認定医」に
釘宮成二先生が合格しました」
- 6月から国保での人間ドックがスタート

2025

6月

5月12日

看護週間イベント開催

看護の日イベントを開催 ～写真展:なりたい自分を求めて～

今年は、地域の皆さんに私たちが実践している看護を知っていただくとともに、新たに看護師を目指す若い方へのメッセージを込め、私たちが生き生きと働く姿を写真にしてお届けしました。多くの方のご参加ありがとうございました。

外来では、患者さんが医師の診察や検査、治療をスムーズに受けられるようサポートを行っています。クリニックから紹介をいただいた方や手術が必要な方、定期的なケアや手術後の経過観察を必要とする人など、さまざまな患者さんが安心して安全な医療を受けられるよう質の高い看護を提供しています。

急性期病棟（3階病棟）では、主に消化器外科治療、消化器内科治療などの患者さんが入院されている病棟です。腹腔鏡や内視鏡による手術や検査、化学療法中の患者さんが安心して治療が受けられるよう笑顔で看護を提供しています。

手術室では、患者さんが安全で安楽に手術に臨めるよう、患者さんの立場に立ったケアを行い、手術が円滑に行えるよう手術室内外でサポートを行っています。

中央材料室では、医療器材の保管や洗浄・滅菌を行って安全な器材の提供を行い、安心して手術が受けられるように日々頑張っています。

地域包括ケア病棟（4階病棟）では、急性期を脱した患者さんの治療や在宅での生活へ向けた退院支援をリハビリテーション科や患者サポートセンターと連携して行っています。チームワークを大切にし、互いを尊重することのできる、温かみのある病棟を目指しています。

患者サポートセンターでは、患者やその家族に対して、入院前から入院中のサポート、退院後までの一貫した支援を提供し、安心して入院していただけるよう地域包括ケアシステムの中で患者さんを中心に、院内外の日々連携を図り「切れ目のない支援」を行っています。

この人に聞きました①

「内視鏡技術認定医」に 釘宮成二先生が合格しました

このたびはおめでとうございます！
合格率が約30%と、消化器外科領域では高難度の資格ですね。



ありがとうございます。当院で行った腹腔鏡手術の動画を未編集のまま日本内視鏡外科学会に提出し、審査を受けるのですが、初回の申請で合格できました。これは当院スタッフ全員の合格であり、日頃の手術が高水準であると評価され、非常にうれしく思います。

どんな資格制度なのですか？

学会が、内視鏡手術に携わる医師の技術を高い基準にしたがって評価し、「後進を指導するに足る所定の基準を満たした人」と認定する制度です。

当院の胃癌・大腸癌の手術は90%以上が腹腔鏡ですが、患者さんにどんなメリットがあるのですか？

腹腔鏡手術は低侵襲で、出血量の低減や術後の早期回復などが利点ですが、安全に行うためには高度な技量が必要とされます。内視鏡外科技術認定医がかかわることで、術後の合併症発生を軽減することが報告されています。

当院では、私を含め4名在籍しており、すべての腹腔鏡手術に携わることで、安全性を保ちつつ、癌の根治を目指した手術を行っています。

最後に、皆さんにメッセージをお願いします！



食道・胃・小腸・大腸・肝・胆・脾など消化器疾患全般の治療でお悩みの方は、ご相談ください。

